弥生時代

名前

問1　弥生時代には大陸から青銅器と鉄器の技術が伝わりました。鉄が主に武器や工具として利用されたのに対し、青銅器である銅鐸は、時代が進むにつれて大型化していきました。このような変化を遂げた銅鐸は、当時どのような目的で使われていたと考えられていますか。（2021年 大阪府公立入試 類似）

1. 稲を効率よく刈り取るための実用的な工具
2. 集落を外敵から守るための鋭利な武器
3. 豊作などを願うための祭祀の道具
4. 大陸との交易において価値の基準となる貨幣

問2　中国の歴史書には、紀元前1世紀頃から1世紀頃にかけての倭（日本）の様子が記されています。これらの記述についてまとめた次の説明のうち、最も適切なものはどれですか。（2023年 大分県公立入試 類似）

1. 『魏志』倭人伝には、倭の王が初めて中国の皇帝に朝貢し、大陸の進んだ青銅器文化を日本へ持ち帰ったことが記されている。
2. 『漢書』地理志には、倭人が100余りの国に分かれて生活し、定期的に朝鮮半島の楽浪郡へ使節を送っていたことが記されている。
3. 『後漢書』東夷伝には、卑弥呼が30余りの国を従え、魏の皇帝から「親魏倭王」の称号を授かったことが記されている。
4. 『漢書』地理志には、奴国の王が後漢の光武帝から金印を授かり、中国との交流を深めたことが記されている。

問3　弥生時代に大陸から稲作が伝わり、食料を蓄えることが可能になったことで生じた社会の変化について、最も適切な説明を選んでください。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

1. 表面に縄目の文様がある、厚手で黒褐色の土器が全国的に作られるようになった。
2. ナウマン象などの大型動物を狩猟するために、人々は移動を繰り返しながら生活するようになった。
3. 土地や水の利用、蓄えた食料などをめぐって、ムラの間で争いが起こるようになった。
4. 政府から農民へ平等に土地が割り当てられ、収穫した稲を税として納める制度が整った。

問4　「魏志倭人伝」に記されている、3世紀頃の日本（倭）の社会や政治の様子に関する説明として、当時の状況を正しく述べているものを選びなさい。（2025年 長野県公立入試 類似）

1. 大人（たいじん）と下戸（げこ）という身分の差があり、租税を納める仕組みがあった
2. 仏教が伝来した直後であり、各地で巨大な寺院の建設が始まっていた
3. 律令制度が導入され、戸籍に基づいて全ての人々に口分田が割り当てられていた
4. 武士団が結成され、各地の荘園を管理するために地頭が派遣されていた

問5　縄文時代末期に大陸から北九州地方へ稲作が伝来したことにより、その後の社会の仕組みはどのように変化しましたか。最も適切な説明を選びなさい。（2016年 奈良県公立入試 類似）

1. 全国で狩猟や採集が完全に行われなくなり、全ての集落が移動をしない定住生活を同時に開始した。
2. 食料の保存が可能になったことで、蓄えの多寡による富の差や、土地や水をめぐる争いが生じるようになった。
3. 大陸との交易が独占されたため、各地の集落が独立したまま争いのない平和な時代が続いた。
4. 米を貨幣として使用する制度がすぐに確立し、中央集権的な国家が全国に一斉に誕生した。

問6　中国の歴史書「魏志倭人伝」に記録されている邪馬台国の女王卑弥呼は、当時の中国の王朝である魏に使いを送りました。卑弥呼がこのような外交を行った背景や、その結果として得た称号について述べた文として正しいものはどれですか。（2026年 大阪府公立入試 類似）

1. 白村江の戦いでの協力を依頼するため、皇帝から「日本国王」の称号を授かった。
2. 仏教を日本に広めるための援助を求め、皇帝から「倭王武」の称号を授かった。
3. 大陸の優れた青銅器技術を独占するため、皇帝から「遣隋使」として認められた。
4. 自らの権威を高めるために中国と通じ、皇帝から「親魏倭王」の称号を授かった。

問7　3世紀の中国の歴史書である『魏志倭人伝』には、当時の日本（倭）の様子が記されています。それによると、倭ではもともと男子を王としていましたが、国が乱れて互いに攻め合う状態が数年続きました。この混乱を収めるためにとられた歴史的な経緯として正しいものはどれですか。（2020年 徳島県公立入試 類似）

1. 一人の女性を王として共立し、国をまとめさせた
2. 仏教を国教として導入し、人々の信仰によって乱れを鎮めた
3. 狗奴国の王が武力によって全ての小国を制圧した
4. 中国の魏から派遣された総督が直接統治を行った

問8　古代の東アジアにおいて、倭（日本）などの周辺諸国の首長や国王が、中国の皇帝に使者を送り、貢物を捧げた外交形式を何と呼びますか。この形式において、使者は中国の皇帝からその地域の支配権を認められ、称号や金印を授かることで、自らの権威を高めようとしました。（2024年 宮崎県公立入試 類似）

1. 通商
2. 冊封
3. 朝貢
4. 民間貿易

問9　邪馬台国の女王である卑弥呼が、中国の魏（ぎ）へ使いを送り、皇帝から「親魏倭王」の称号や金印、多数の銅鏡を授かった政治的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 秋田県公立入試 類似）

1. 魏の優れた律令制度をそのまま日本に導入し、中央集権国家をいち早く確立するため
2. 魏と共同で朝鮮半島の高句麗を攻撃し、領土を拡大するための軍事同盟を結ぶため
3. 魏の後ろ盾を得ることで自らの権威を高め、国内の統治や他国との関係を有利に進めるため
4. 魏の強力な軍事力を日本に直接呼び寄せ、九州地方の反乱勢力を武力で鎮圧するため

問10　中国の歴史書である『後漢書』東夷伝には、1世紀半ばの57年に倭の奴国の王が使者を送り、皇帝から印綬（印と紐）を授かったという記述があります。このとき授けられたとされる「漢委奴国王」と刻まれた金印が、江戸時代に発見された現在の福岡県にある場所はどこですか。（2023年 大阪府公立入試 類似）

1. 種子島
2. 対馬
3. 壱岐
4. 志賀島

問11　弥生時代の遺跡で見つかる特徴のうち、当時の社会において集団間の緊張や争いがあったことを最も直接的に示しているものはどれですか。（2021年 愛知県公立入試 類似）

1. 収穫した稲の穂を効率よく摘み取るために使用された、平らな石に穴を開けた石包丁
2. 祭祀や宝物として用いられたと考えられる、複雑な文様が描かれた青銅製の銅鐸や銅鏡
3. 湿気やネズミの被害から穀物を守るために、柱にねずみ返しを設けた床の高い建物
4. 集落を二重、三重に囲む深い堀や、尖った杭を並べた逆茂木（さかもぎ）の跡

問12　紀元前後の日本（倭）が100余りの小国に分かれていた時代、現在の福岡県付近にあった「奴国」の王が使者を派遣し、皇帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授けられたとされる中国の王朝を選びなさい。（2016年 大阪府公立入試 類似）

1. 唐
2. 漢
3. 元
4. 宋

弥生時代

名前

問1　弥生時代に本格的に始まった稲作において、収穫の際に用いられた石包丁の使用方法について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 稲を根元から刈り取るために用いられた
2. 土を掘り返して苗を植えるために用いられた
3. 収穫した後の脱穀を行うために用いられた
4. 稲の穂の部分を摘み取るために用いられた

問2　邪馬台国の女王卑弥呼に関する記述として、最も適当なものはどれか。（2016年 北海道公立入試 類似）

1. 摂政である聖徳太子とともに、冠位十二階や十七条の憲法を定めた。
2. 魏に使いを送り、「親魏倭王」の称号や多数の銅鏡を授かった。
3. 日本で初めて本格的な都城である藤原京を造営し、国家体制を整えた。
4. 夫である天皇の死後、軍を率いて朝鮮半島へ出兵したという伝説がある。

問3　弥生時代の社会状況を示す事例として、香川県にある紫雲出山遺跡のように、瀬戸内海を一望できる高い山の上に作られた「高地性集落」があります。卑弥呼が邪馬台国を治めていた時期を含め、このような特殊な場所に集落が作られた理由として、当時の社会背景を説明したものを選びなさい。（2021年 香川県公立入試 類似）

1. 遣隋使や遣唐使として派遣される人々を、高い場所から見送る儀式を行うため。
2. 大陸から伝来した仏教を修行するための山岳寺院を建てる必要があったため。
3. 稲作が普及する中で、土地や水をめぐる集落間の争いが激化し、防衛や監視に有利だったため。
4. 白村江の戦いで敗れた後、唐や新羅の侵攻に備えて防衛拠点としての城を築いたため。

問4　弥生時代に造られた、掘立柱によって床を高い位置に設けた建築物の特徴と目的について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 佐賀県公立入試 類似）

1. 貴族が政治や生活を行うための住居として、池を中心とした広い庭園に面して複数の建物が廊下で結ばれた。
2. 地面を円形や方形に掘り下げ、その上に屋根をかけた人々の住居として、防寒性を高める工夫がなされた。
3. 大陸から伝わった仏教の儀式を行うための施設として、屋根に瓦をふき、床に石を敷き詰めて造られた。
4. 収穫した稲を貯蔵するために造られ、湿気を防ぎ、ネズミなどの害獣の侵入を防ぐ工夫が施された。

問5　表面に当時の生活の様子や動植物、流水文などの模様が描かれ、上部に「鈕（ちゅう）」と呼ばれる持ち手のような部分がついている、弥生時代の祭祀用青銅器の名称は何か。（2026年 新潟県公立入試 類似）

1. 銅矛
2. 銅鐸
3. 埴輪
4. 銅戈

問6　弥生時代に大陸から稲作の技術とともに伝わった金属器について、武器や工具として実用的に使われた鉄器に対し、主に豊作を祈る祭りなどの祭祀（儀式）に用いられたものを総称して何といいますか。（2026年 滋賀県公立入試 類似）

1. 青銅器
2. 鉄器
3. 埴輪
4. 磨製石器

問7　古代の東アジアにおいて、倭（日本）などの周辺諸国の首長や国王が、中国の皇帝に使者を送り、貢物を捧げた外交形式を何と呼びますか。この形式において、使者は中国の皇帝からその地域の支配権を認められ、称号や金印を授かることで、自らの権威を高めようとしました。（2024年 宮崎県公立入試 類似）

1. 朝貢
2. 冊封
3. 通商
4. 民間貿易

問8　3世紀の中国の歴史書である『魏志倭人伝』には、当時の日本（倭）の様子が記されています。それによると、倭ではもともと男子を王としていましたが、国が乱れて互いに攻め合う状態が数年続きました。この混乱を収めるためにとられた歴史的な経緯として正しいものはどれですか。（2020年 徳島県公立入試 類似）

1. 中国の魏から派遣された総督が直接統治を行った
2. 狗奴国の王が武力によって全ての小国を制圧した
3. 一人の女性を王として共立し、国をまとめさせた
4. 仏教を国教として導入し、人々の信仰によって乱れを鎮めた

問9　鳥取県の青谷上寺地遺跡などの出土品をまとめた資料では、木製品や骨角器とともに、石器、金属器、そしてこの時代の特徴的な土器が並んで示されています。これらの道具が併用されていた弥生時代の土器に見られる、縄文土器と比較した際の外見上の特徴として、最も適切なものはどれか。（2016年 鳥取県公立入試 類似）

1. 表面に細目の文様がつけられ、全体的に薄手で実用的である
2. 表面に縄目のような力強い文様がつけられ、全体的に厚手である
3. 仏教の儀式に用いるために、表面に金色の装飾や仏像が描かれている
4. 青灰色をしており、非常に硬く焼かれた朝鮮半島由来の技術で作られている

問10　弥生時代に大陸から日本列島へ伝わった金属器の特色について、銅鐸の性質をふまえて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 青銅器は、鉄器よりも硬く鋭いため、主に開墾用の農具や実戦用の武器として普及した
2. 銅鐸は文字を記録するための道具として開発され、当時の律令制度を庶民に伝えるために使われた
3. 青銅器は、鉄器に比べて祭礼や儀式に用いられる傾向が強く、銅鐸もその一種であった
4. 銅鐸に代表される青銅器は、古墳時代になってから初めて製作され、巨大な墓に副葬された

問11　卑弥呼が中国の魏に使いを送り、「親魏倭王」の称号や金印、銅鏡などを授かった背景として、最も適切な説明を選びなさい。（2017年 長崎県公立入試 類似）

1. 中国の律令制度を日本に持ち帰り、戸籍の作成や租・庸・調の税制を整えるための助言を求めたため。
2. 中国の皇帝から統治者としての権威を認められることで、国内の諸勢力との争いを有利に進め、統治を安定させようとしたため。
3. 中国から仏教を公式に導入し、宗教の力を用いて人々の思想を統一し、中央集権的な国家を築こうとしたため。
4. 魏の軍事力を借りて朝鮮半島の国々を征服し、鉄資源を独占して経済的な優位性を確立しようとしたため。

問12　邪馬台国の女王が中国の魏の皇帝に使者を送った際、皇帝から授けられたとされる称号と、その証として贈られた品物の組み合わせとして適切なものを選びなさい。（2025年 長野県公立入試 類似）

1. 「漢委奴国王」の称号と、志賀島で発見された金印
2. 「日本国王」の称号と、明との貿易に用いられた勘合符
3. 「親魏倭王」の称号と、金印や銅鏡
4. 「倭王」の称号と、百済から贈られた七支刀

弥生時代

名前

問1　弥生時代の吉野ヶ里遺跡などに見られる、高い木材を組み上げ周囲に柵を張り巡らせた「物見やぐら」が作られた背景として、当時の社会状況を正しく説明しているものはどれですか。（2016年 岐阜県公立入試 類似）

1. 高床倉庫に保管した穀物がネズミの被害に遭わないよう、高い場所で常に監視を行うため。
2. 稲作の普及により土地や水をめぐる争いが増え、集落を守るための防御機能が必要になったため。
3. 大陸から伝わった仏教の儀式を行うため、天に近い高い場所で祈りを捧げる必要があったため。
4. 天皇を中心とした中央集権体制が確立し、地方の豪族がその権力を誇示するために建設したため。

問2　1世紀半ばの日本（倭）において、九州にあった奴国の王が中国の王朝に使者を送り、皇帝から金印を授けられたという記録が中国の歴史書に残されています。このとき、奴国の王に金印を授けた中国の王朝として正しいものを次の中から選びなさい。（2026年 山口県公立入試 類似）

1. 秦
2. 漢
3. 隋
4. 魏

問3　弥生時代に大陸から稲作が伝来して定住生活が広まると、集落（ムラ）の間で大規模な争いが発生するようになりました。縄文時代の狩猟・採集中心の生活ではあまり見られなかったこのような対立が、弥生時代に激化した主な理由として適切なものはどれですか。（2024年 北海道公立入試 類似）

1. 獲物を追って移動する範囲を広げる中で、獲物の所有権をめぐって対立したため
2. 気候の寒冷化によって木の実などの食料が激減し、採集場所を奪い合ったため
3. 水田を耕作するための土地や、農業に欠かせない水の利権を確保しようとしたため
4. 大陸から伝来した仏教の布教をめぐり、信仰の違いから衝突が起きたため

問4　弥生時代に大陸から稲作とともに伝えられた金属器のうち、強度が非常に高く、主に武器や工具、木製農具の刃先などの実用的な道具として用いられたものはどれですか。（2023年 大阪府公立入試 類似）

1. 打製石器
2. 鉄器
3. 青銅器
4. 磨製石器

問5　5世紀、倭の五王が中国の南朝である「宋」へたびたび使者を送った目的として、当時の東アジア情勢を踏まえた説明として最も適切なものはどれか。（2016年 岐阜県公立入試 類似）

1. 朝鮮半島における軍事的な指揮権や外交的な立場を、中国の皇帝に公認してもらうため。
2. 邪馬台国内での争いを鎮めるために、中国の強力な軍隊を日本国内へ招き入れるため。
3. 福岡県の志賀島で発見された「漢委奴国王」の金印を、宋の皇帝に返還するため。
4. 遣隋使の派遣に先立ち、中国の進んだ律令制度や仏教を日本に導入する許可を得るため。

問6　1世紀半ば、日本の小国の一つであった奴国の王が、中国の王朝である後漢へ使者を送った時期の社会状況として、最も適切なものはどれですか。（2022年 愛媛県公立入試 類似）

1. 狩猟や採集を生活の中心とし、ナウマンゾウなどの大型動物を追って移動を繰り返す生活を送っていた。
2. 仏教による国家の安定を図るため、聖武天皇の命によって全国各地に国分寺や国分尼寺が建立された。
3. 巨大な前方後円墳が築造されるようになり、その周囲には死者を供養するための埴輪が並べられた。
4. 大陸から伝わった稲作や金属器の使用が広まり、食料の蓄えや土地をめぐる集落間の争いが起こるようになった。

問7　1世紀半ば、倭の奴国の王が、危険を冒してまで当時の中国の王朝であった漢（後漢）に使節を送り、皇帝から金印を授かった政治的な背景・目的として最も適切なものはどれですか。（2025年 愛媛県公立入試 類似）

1. 中国で発明されたばかりの青銅器や鉄器の製造技術を独占し、列島全体を武力で統一するため
2. 中国の皇帝から王としての地位を認めてもらい、その権威を背景に周囲の小国に対して優位に立つため
3. 中国で当時流行していた仏教を正式に日本へ導入し、宗教的な力によって国内の混乱を鎮めるため
4. 中国で起きていた大規模な農民反乱を鎮圧するために、倭の軍事力を提供して同盟関係を築くため

問8　弥生時代に大陸から伝わった技術や文化が、当時の社会に与えた影響を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 狩猟や採集がより効率的になり、人々は移動を繰り返しながら竪穴住居に住んだ。
2. 青銅器が実用的な農具として普及したことで、開墾が進み全国的な統一国家が誕生した。
3. 巨大な前方後円墳を築くための高い土木技術が伝わり、各地に大規模な古墳が作られた。
4. 稲作の普及により食料の蓄えが可能になり、貧富の差や集団をまとめる王が現れた。

問9　邪馬台国の女王が中国の魏の皇帝に使者を送った際、皇帝から授けられたとされる称号と、その証として贈られた品物の組み合わせとして適切なものを選びなさい。（2025年 長野県公立入試 類似）

1. 「倭王」の称号と、百済から贈られた七支刀
2. 「日本国王」の称号と、明との貿易に用いられた勘合符
3. 「親魏倭王」の称号と、金印や銅鏡
4. 「漢委奴国王」の称号と、志賀島で発見された金印

問10　3世紀の倭国の女王である卑弥呼が、中国の王朝である魏に使いを送った目的として、当時の政治的な背景から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）

1. 隋の皇帝に対して、対等な外交関係を築くことを求めるため
2. 大陸の進んだ文化や制度を直接学び、仏教を日本に広めるため
3. 魏の皇帝から倭国の王としての正当性を認められ、国内の統治を安定させるため
4. 元との貿易を円滑に進めるために、港の整備や通貨の流通を依頼するため

問11　1世紀頃の東アジアにおいて、中国の皇帝が周辺国の支配者に対して「みつぎ物」の見返りとして「称号」や「印」などを与える国際秩序がありました。倭の王が中国へ使いを送った歴史的背景や目的として最も適切な説明はどれですか。（2019年 長野県公立入試 類似）

1. 仏教などの新しい宗教を中国から正式に導入し、国を治めるための思想として活用しようとした。
2. 中国と対等な立場で外交関係を築き、軍事的な同盟を結ぶことで領土を拡大しようとした。
3. 朝鮮半島北部の小国として、中国の強力な武力による直接支配から逃れるための許可を求めた。
4. 中国の皇帝に臣下として認められることで、自らの支配者としての地位を国内や周辺に示そうとした。

問12　弥生時代に中国や朝鮮半島から伝わった鉄の利用について、当時の社会に与えた影響を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 奈良県公立入試 類似）

1. 木製農具の刃先に装着することで土地を耕す効率が向上し、農業生産力が高まった。
2. 土偶の表面を細かく削り出すための彫刻用具として、全国で広く普及した。
3. 須恵器と呼ばれる硬い土器を焼くために、窯の温度を上げる燃料として利用された。
4. ナウマンゾウなどの大型の獣を捕らえるための、強力な打製石器の材料となった。

弥生時代

名前

問1　兵庫県神戸市の桜ヶ丘町などで出土した、釣り鐘のような独特の形をした弥生時代の青銅器について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、この青銅器の表面には、当時の生活の様子や幾何学的な文様が描かれていることがあります。（2021年 大阪府公立入試 類似）

1. 縄文時代の集落で見つかる、魔除けのために作られた土偶である
2. 古墳の副葬品として納められた、馬に装着する鉄製の装具である
3. 魏の皇帝から邪馬台国の女王に贈られたとされる銅鏡である
4. 狩猟や農耕の様子が描かれた、祭祀に用いられた銅鐸である

問2　稲作が朝鮮半島から伝わり、人々の生活が変化した時代に使用された道具の説明として、最も適切なものはどれですか。（2018年 北海道公立入試 類似）

1. 豊作を祈る祭りなどのために、青銅器である銅鐸が使われた
2. 権力者の墓の周囲に並べるために、埴輪が作られた
3. 日本独自の貨幣として、富本銭が発行された
4. 魔除けや食物の豊かさを祈り、土製の人形である土偶が作られた

問3　紀元前後に位置する東アジアの歴史を記した年表において、1世紀半ばに日本の「倭」の中にあった「奴国」の王が、ある中国の王朝に使節を送り、その証として金印を授けられたという記述があります。この時、奴国の王が使節を送り、金印を授かった王朝の名称として正しいものを選択してください。（2025年 愛媛県公立入試 類似）

1. 漢（後漢）
2. 隋
3. 秦
4. 魏

問4　西暦57年から16世紀末までの歴史的な出来事をまとめた年表において、3世紀の項目に「倭の女王が魏に使いを送る」という記述があります。この時、女王卑弥呼が中国の王朝と外交関係を結んだ主な背景や目的として最も適切なものはどれですか。（2019年 茨城県公立入試 類似）

1. 中国で確立されていた律令制度を学び、天皇を中心とした中央集権国家をいち早く形成するため
2. 鉄資源を独占するために、朝鮮半島南部の任那（加羅）に日本府を設置する許可を得るため
3. 仏教を正式な国教として導入するために、大陸から僧侶を招き、寺院建設の支援を受けるため
4. 中国の皇帝から王としての地位を認められることで、国内の統治や周辺諸国との関係を有利に進めるため

問5　弥生時代に大陸から稲作とともに伝わった金属器のうち、硬くて鋭利な特徴を活かして、木工具や農具、武器などの実用的な道具として広く普及したものは何ですか。（2016年 大阪府公立入試 類似）

1. 青銅器
2. 土器
3. 鉄器
4. 石器

問6　弥生時代に大陸から稲作が伝わると、収穫のための道具として磨製石器の一種が広く使われるようになりました。中央に2つの小さな穴が開いた半月形の形状をしており、稲の穂先のみを摘み取るために使用されたこの道具の名称を選びなさい。（2024年 秋田県公立入試 類似）

1. 尖頭器
2. 鉄鎌
3. 磨製石斧
4. 石包丁

問7　弥生時代には青銅器と鉄器がほぼ同時に日本列島へ伝わりました。それぞれの金属器が果たした役割の違いについて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 沖縄県公立入試 類似）

1. 青銅器は前方後円墳に埋葬するための副葬品として作られ、鉄器は神社の建築のために使われた
2. 青銅器は加工のしやすさを活かして農具や工具として普及し、鉄器は主に祭りの道具として使われた
3. 鉄器は定期市での取引を円滑にするために使われ、青銅器はイスラム教の礼拝の道具として使われた
4. 鉄器は鋭さや硬さを活かして農具や武器などの実用に供され、青銅器は主に祭りの道具として使われた

問8　弥生時代の遺跡から発掘される人骨に見られる特徴のうち、当時の社会において集落間の対立が激化したことを示す根拠として正しいものはどれですか。（2022年 沖縄県公立入試 類似）

1. 人骨の周囲に、祭祀に用いられたと考えられる銅鐸や銅剣が大量に並べられていること
2. 骨に武器による殺傷跡があったり、本来あるはずの頭部がない状態で発見されたりすること
3. 骨の成分分析から、家畜の肉を主食としていたことが判明し、獲物の奪い合いが推測されること
4. 人骨が、身分に応じた大きさや形の異なる前方後円墳などの古墳から発見されること

問9　1世紀に倭の奴国の王が中国の後漢へ使者を送り、光武帝から金印を授かった背景として、当時の小国の王たちの目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 大阪府公立入試 類似）

1. 遣隋使や遣唐使のように、進んだ律令制度を学び取り、日本独自の憲法を制定するため。
2. 仏教などの新しい宗教を中国から導入し、国民の精神的な団結を図るため。
3. 中国の皇帝から地位を認められることで、自国の権威を高め、周囲の国々に対して有利に立つため。
4. 中国からの軍事支援を直接受け、近隣諸国を武力で一気に統一しようと考えたため。

問10　大陸から稲作の技術が伝わったことで、人々の生活や集落の様子は大きく変化しました。この時期の集落において、収穫した食料を管理・保存するために設けられた特徴的な施設として適切な名称を選びなさい。（2021年 岡山県公立入試 類似）

1. 前方後円墳
2. 環濠集落
3. 高床倉庫
4. 竪穴住居

問11　3世紀頃の倭国において、邪馬台国を中心に30ほどの国々をまとめ、中国の魏から「親魏倭王」の称号や金印を授けられた人物は誰ですか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）

1. 推古天皇
2. 卑弥呼
3. 持統天皇
4. 北条政子

問12　弥生時代に大陸から伝えられた金属器のうち、銅鐸や銅剣などの青銅器は、主にどのような目的で使用されていたと考えられますか。（2019年 徳島県公立入試 類似）

1. 都の東西に置かれた市で、布や米と交換される通貨として用いられた
2. 土地を耕したり木を加工したりする実用的な工具として用いられた
3. 集団の祭祀や祭りの道具として用いられた
4. 食物を煮炊きしたり、貯蔵したりするための生活容器として用いられた

問13　弥生時代に稲作が広まったことで、土地や水をめぐる争いが起こるようになりました。集落を外敵からの攻撃から守るために、周囲に深い堀を掘り、木の柵を設置した集落を何と呼びますか。（2024年 沖縄県公立入試 類似）

1. 三内丸山遺跡
2. 石舞台古墳
3. 高床倉庫
4. 環濠集落

問14　弥生時代、稲作が西日本から東日本へと普及して食糧の蓄えができるようになると、各地で土地や水をめぐる争いが起こり、小さな国々が誕生しました。こうした中、倭の奴国の王が中国の王朝へ使いを送った目的や背景として最も適切な説明を選びなさい。（2022年 広島県公立入試 類似）

1. 中国の後漢の光武帝から金印を授かることで、自らの支配の正当性を背景に権力を強めようとした。
2. 鉄製農具や須恵器の製作技術を独占し、縄文時代から続く狩猟・採集の生活をより豊かにしようとした。
3. 巨大な前方後円墳を築造するための最新技術を導入し、日本列島全体の統一を早急に成し遂げようとした。
4. 土偶を用いた独自の祭祀を中国に認めてもらうことで、大陸での宗教的な影響力を拡大しようとした。

弥生時代

名前

問1　1世紀半ばの日本（倭）において、九州にあった奴国の王が中国の王朝に使者を送り、皇帝から金印を授けられたという記録が中国の歴史書に残されています。このとき、奴国の王に金印を授けた中国の王朝として正しいものを次の中から選びなさい。（2026年 山口県公立入試 類似）

1. 秦
2. 隋
3. 魏
4. 漢

問2　佐賀県に位置する吉野ヶ里遺跡は、集落の周囲に深い濠（ほり）や土塁を巡らせた「環濠集落」の代表例として知られています。このような大規模な防衛施設を持つ集落が弥生時代に造られるようになった社会的な背景として、最も適切な説明はどれか、選びなさい。（2020年 和歌山県公立入試 類似）

1. 狩猟や採集の効率を上げるために、獲物となる動物を追い込む囲いが必要だったため
2. 頻発する大規模な洪水や高潮から、住居や高床倉庫の浸水を防ぐ必要があったため
3. 仏教の伝来にともない、寺院を中心とした聖域を保護する必要が生じたため
4. 本格的な稲作が始まり、土地や水をめぐる集落間の争いが激しくなったため

問3　弥生時代に邪馬台国の卑弥呼が、中国の魏に使いを送った政治的な理由として、当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものを選択してください。（2015年 佐賀県公立入試 類似）

1. 律令国家の仕組みを学ぶために、魏の進んだ法制度や官僚機構を日本に導入して中央集権化を図るため。
2. 「倭国大乱」と呼ばれる国内の激しい争いを鎮め、魏の皇帝から称号を得ることで国内における統治の正当性を示すため。
3. 鉄製農具の使用を全国に普及させるため、魏から大量の鉄資源を安価に輸入する独占的な貿易ルートを確保するため。
4. 日本列島に迫っていた魏の軍事的侵攻を回避するため、多額の貢ぎ物を持参して講和を結ぶため。

問4　大陸から稲作の技術が伝わったことで、人々の生活や集落の様子は大きく変化しました。この時期の集落において、収穫した食料を管理・保存するために設けられた特徴的な施設として適切な名称を選びなさい。（2021年 岡山県公立入試 類似）

1. 環濠集落
2. 高床倉庫
3. 竪穴住居
4. 前方後円墳

問5　弥生時代の遺跡からは、中央に2つの穴が開いた半月形の石器が数多く出土します。この道具を用いた当時の収穫方法と、その特徴について説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2024年 秋田県公立入試 類似）

1. 穴に紐を通して指にかけ、熟した稲の穂先のみを摘み取る「穂首刈り」を行っていた。
2. 石器の鋭い側面を使い、脱穀のために稲の茎から籾をこすり落としていた。
3. 穴に長い木の柄を取り付け、稲を根元から一気に刈り取る「根刈り」を行っていた。
4. 複数の石器を組み合わせて土を掘り起こし、田植えの前の耕作に使用していた。

問6　1世紀半ば、倭の奴国の王が、危険を冒してまで当時の中国の王朝であった漢（後漢）に使節を送り、皇帝から金印を授かった政治的な背景・目的として最も適切なものはどれですか。（2025年 愛媛県公立入試 類似）

1. 中国の皇帝から王としての地位を認めてもらい、その権威を背景に周囲の小国に対して優位に立つため
2. 中国で当時流行していた仏教を正式に日本へ導入し、宗教的な力によって国内の混乱を鎮めるため
3. 中国で起きていた大規模な農民反乱を鎮圧するために、倭の軍事力を提供して同盟関係を築くため
4. 中国で発明されたばかりの青銅器や鉄器の製造技術を独占し、列島全体を武力で統一するため

問7　弥生時代に大陸から稲作の技術とともに伝わった金属器のうち、銅とスズの合金で作られ、主に豊作を祈るなどの祭祀（祭り）の儀式に用いられた道具の総称を何というか。（2022年 島根県公立入試 類似）

1. 土器
2. 打製石器
3. 青銅器
4. 鉄器

問8　弥生時代に本格的に始まった稲作において、実った稲の穂先のみを摘み取って収穫するために使われた磨製石器を何というか。（2016年 奈良県公立入試 類似）

1. 石匙
2. 石包丁
3. 打製石斧
4. 石鏃

問9　弥生時代の代表的な遺跡である佐賀県の吉野ヶ里遺跡について、その集落の構造を説明した記述として最も適切なものを次から選びなさい。（2023年 佐賀県公立入試 類似）

1. 交易を円滑にするため、海岸線に沿って長い石垣が築かれ、港の機能を中心としている。
2. 大規模な公共事業を行うため、周囲の山を削って平地を作り、規則正しく住居が並んでいる。
3. 外敵の侵入や攻撃を防ぐため、集落の周囲に深い溝（濠）を掘り、さらに柵を巡らせている。
4. 収穫した稲をネズミや湿気から守るため、床を高くした高床倉庫が集落の中心に配置されている。

問10　邪馬台国の女王卑弥呼が、当時の中国の王朝である魏に使いを送った背景やその後の状況を説明した文として、最も適切なものを選びなさい。（2023年 山形県公立入試 類似）

1. 倭の奴国の王として、後漢の皇帝から金印を授かり、九州地方の交易の利権を独占しようとした。
2. 魏の皇帝から「親魏倭王」の称号や金印を授かることで、国内の小国に対する自らの権威を高めようとした。
3. 大陸の優れた仏教文化を直接取り入れるために、公式な使節として小野妹子を魏の都へ派遣した。
4. 秦の始皇帝に対して不老不死の薬を献上することで、国内の争いを鎮めるための軍事支援を求めた。

問11　福岡県などで出土した、表面が滑らかで機能的な形をした壺型の土器について、その形状や性質が変化した背景として最も適切なものはどれか。（2026年 北海道公立入試 類似）

1. 青銅器や鉄器が普及したことで土器が使われなくなり、儀式用の飾りとしてのみ作られるようになったから。
2. 狩猟や採集を中心とした移動生活に耐えられるよう、衝撃を吸収するためにあえて厚手に作る技術が途絶えたから。
3. 大陸から伝わった仏教の影響により、華美な装飾を避けて質素な道具を作ることが社会の決まりとなったから。
4. 稲作が普及したことで、収穫した食料の貯蔵や煮炊きといった生活道具としての使いやすさが重視されるようになったから。

問12　弥生時代に稲作が普及すると、土地や水の利用をめぐる集団間の争いが起こるようになりました。こうした外敵の攻撃から集落を守るために、周囲に深い堀や柵を巡らせた当時の集落の形態を何といいますか。（2021年 愛知県公立入試 類似）

1. 環濠集落
2. 高床倉庫
3. 高地性集落
4. 竪穴住居

問13　弥生時代に中国や朝鮮半島から伝わった鉄の利用について、当時の社会に与えた影響を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 奈良県公立入試 類似）

1. 須恵器と呼ばれる硬い土器を焼くために、窯の温度を上げる燃料として利用された。
2. 木製農具の刃先に装着することで土地を耕す効率が向上し、農業生産力が高まった。
3. ナウマンゾウなどの大型の獣を捕らえるための、強力な打製石器の材料となった。
4. 土偶の表面を細かく削り出すための彫刻用具として、全国で広く普及した。